皆さん、新年明けましておめでとうございます。
市議会議長の奴間です。
部落解放同盟古賀・新宮地区協議会の２０１４年新春旗開きにあたりまして、市議会を代表してご挨拶申しあげます。
清原留夫委員長を先頭に、部落解放同盟の皆さんにおかれましては、部落の完全解放とあらゆる差別の撤廃、また、人権・平和・民主主義のために、たいへん貢献していただいております。
また、市議会では三好議員、清原議員が議会の活性化のために大いに力を発揮していただいております。年頭に当り、改めて感謝申し上げます。

１６日から１７日にかけて、福岡都市圏議長会で高知県に行ってきました。南海トラフ巨大地震による津波対策などを視察してきました。高知市で１６ｍという津波の予測で、想定では死者数４万２千人、避難生活２４万人という厳しい内容でした。担当者の皆さんは必死でしたが、小さな高知県のために国がどれほどの支援をしてくれるのかという不安もあるようでした。

一方で、２月にオスプレイも動員した日米共同防災訓練が計画されています。高知県の南海トラフ地震対策課の方は、担当が違うので新聞報道の内容しか知らないと言っていました。福岡県の築城基地でも計画されているようです。地震対策とは異なる次元の動きを感じます。

先日、映画『永遠のゼロ』を観てきました。何かと、きな臭ささを感じる昨今、また自民党1強体制で、なおかつ保守リベラルと言われる政治家がほとんど見受けられない今日、これから10年がとても大切な時期だと痛感しました。悲惨な戦争体験を語り継ぐ方もだんだんといなくなります。

安倍首相の靖国神社参拝で、東アジア情勢は好転が望めない状況です。九州、福岡に住む私たちにとって、いらぬ軍事的衝突は絶対回避すべきであるというのが切実な願いです。沖縄・九州への軍備増強よりも東アジアの平和・友好に向けた外交努力こそ必要です。

古賀市で国宝級の馬具が見つかりました。この発見は

古代外交史を塗り替えるという見方もあります。ヤマト王権と新羅が緊張関係にあるときに、私たちの住む地域は和平工作の舞台だったというのです。

現代に生きる私たちへのタイムリーなメッセージではないかと思えてなりません。古賀市は、日韓の共同研究や、姉妹都市構想、経済交流などを積極的に発信したらよいと考えます。

沖縄・九州での軍備増強に反対し、東アジアでの平和友好のために部落解放同盟の皆さんが大きな役割を発揮していただけることを期待します。

今日は、グラフを持ってきました。これは、２０１２年１２月の総選挙の時の古賀市の投票率を年代別に示

しています。全体の平均は約６０％でした。しかし年代別にみると大きな差があります。

赤い棒グラフが２０代で、３８％です。青い棒グラフは３０代以上で、３０代が４８％、４０代が５６％、５０代が６７％、６０代と７０代が７７％となっています。男女別では女性がかなり高くなっています。この傾向は市議選でも同じです。

全国平均ですが、過去のデータを見ると、２０代の投票率は１９９０年頃までは６０％前後ありました。１９９０年以降、つまりバブル経済の崩壊や小選挙区制度が始まって以降、特に２０代、３０代の投票率が大きく低下しました。

非正規雇用など仕事に対する不安と同時に、政治に対する不信感が強まったのかもしれません。２０代の投票率の低さを、若者は政治に関心が低いからだと決めつけるわけにはいかない背景があるようです。

しかし、若者の投票率がこのまま続けば民主主義はどうなるでしょうか。特定秘密保護法が成立し、憲法改正の動きも加速される可能性が大です。民主主義の基礎が大きく崩れるような気がしてなりません。

いま大事なことは、投票率の多い少ないよりも、「日常における主権者」として行動することではないでしょうか。憲法は、国の政治のあり方を決め、それを実行することができる力は国民にある、国民主権を謳っていま

す。国民主権を発揮するのは選挙だけではありません。

中学生、高校生を長崎、広島、東日本大震災被災地、さらにはアジアや欧米に派遣するなどの取り組みがこれから必要ではないかと考えます。様々な体験を積み、他者の意見を聞き、自らの意見を伝えられる若者を育てることは、民主主義の基礎ではないかと思います。隣保館での平和の旅も大変重要な意義があると思います。

また古賀市では毎年、憲法記念日の５月３日に学校の先生方を中心に「平和行進」が実施されています。２月２日には特定秘密保護法に反対する行動が呼びかけられています。

こうした若者の国民主権意識を高め、民主主義を守る

共同行動の推進役として、部落解放同盟の皆さんに大いに期待するところです。

２月２７日から来年度の予算を審議・決定する定例会が始まります。また、今年１１月末には市長選、来年４月には県議選、市議選と続きます。各方面の英知を総結集し、素晴らしい古賀市のビジョンを描き、選択する大切な時期になります。

この大事な１年、市議会議員１９人も、古賀市のため、市民のために力を合わせて頑張ることをお誓いします。

結びに、旗開きにお集まりの皆様の、今後ますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、挨拶とします。

２０１４年１月１９日　古賀市議会議長　奴間健司